

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
22122	精神保健事業	保健福祉課	保健係	野澤 秀秋	河手 潤子
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2124

事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分	予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0401	保健衛生総務事務		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A			
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	章 (コード選択)	2章	支え合いとやすらぎのまちづくり	
		節 (コード選択)	2節	健康な暮らしを築く健康づくり・医療体制の充実	
		項[基本施策] (コード選択)	1項	健康づくりの推進	
目[主な施策] (コード選択)		2目	健康相談の充実		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 23 年度 ~ (終了予定) 28 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明 <input type="checkbox"/> 終期設定なし			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)(Plan2)

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

在宅で生活する精神障害者と家族

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

精神障害者が交流の場を持ち、地域での居場所ができること、また自立した社会生活を営めるようになることを目的としている

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 体操やレクリエーションを行い、活動を通して当事者同士が情報交換・交流できる場を設ける
- 家族同士の交流の場を設ける
- 1日の活動を通し、買い物・昼食作りやその他の作業を行う
- スタッフ間で情報を共有し、作業など個別の対応を考える

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区 分			単 位	実績値		計画値		最終目標年度	
				22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)
①	指標名	交流会・デイケアの開催回数	回	40	44	44	1.00		44
	説明	交流会・デイケアの1年間の開催回数	目標値設定 の根拠	実績値					
②	指標名						#DIV/0!		0
	説明		目標値設定 の根拠						

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区 分			単 位	実績値		計画値		最終目標年度	
				22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)
①	指標名	延べ参加人数	人	268	229	269	0.85		269
	説明	1年間に交流会・デイケアに参加した人数	目標値設定 の根拠	実績値					
②	指標名	新規の参加者	人	0	3	3	1.00		3
	説明	1年を通して初めて交流会・デイケアに参加をした人数	目標値設定 の根拠	実績値					

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

☐ 決算書・予算書等に記載の数字☐ 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)		=①+②		(千円)		平成22年度 決 算	平成23年度 決 算	平成24年度 見 込 み
対前年比				%			112.2	100.4
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)								
B)一般財源(税金)						1,187	1,332	1,336
①事業費				(千円)		270	382	390
対前年比				%			141.5	102.1
②人件費の概算				(千円)		917	950	946
対前年比				%			103.5	99.7
						年間人件費	年間人件費	年間人件費
町職員(正規職員)						917	950	946
臨時職員						0	0	0

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

☐ ア. 現状のまま継続する

☐ イ. 見直しのうえで継続する

☐ ウ. 終期設定

☐ エ. 廃止

☐ オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- ☐ a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
☐ b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
☐ c 効率化を図る(コストを下げる)
☐ d 縮小する(簡素化する)
☐ e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

対象者に事業の情報提供ができた。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

24年度予算見積書への反映 ☐ あり ☐ なし

[反映内容]

事業の広報活動を、広報・ホームページを活用し実施する。

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

精神障がいが増えている中で、そこに参加する人の交流の場づくり及び社会復帰への支援。また、障がい者を抱える家族同士の交流の場として、今後も現状のまま進めていく。

- ☐ A. 貢献度 大 ☐ D. 上位施策なし
☐ B. 貢献度 中
☐ C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

☐ ア. 現状維持

☐ イ. 見直しのうえで継続する

☐ ウ. 終期設定

☐ エ. 廃止

☐ オ. 休止



☐ 上記 a～e を選択